

第 117 回 BA エグゼクティブサロン卓話概要

<テーマ> 「世界の見本市に見る家電新潮流2017」

<講師> 関口和一（せきぐち・わいち）
（日本経済新聞社 編集委員）



<略歴>

1982 年一橋大学法学部卒、日本経済新聞社入社。88-89 年フルブライト研究員として米ハーバード大学留学。89 年英文日経キャップ。90-94 年ワシントン支局特派員。

産業部電機担当キャップを経て 96 年より編集委員。2000 年から 15 年間、論説委員として情報通信分野の社説を執筆。2006 年より法政大学大学院客員教授、08 年より国際大学グローコム客員教授、15 年より東京大学大学院客員教授。09-12 年 NHK 国際放送ニュースコメンテーター。12-13 年 BS ジャパン『NIKKEI×BS Live 7PM』メインキャスター。早稲田大学、明治大学の非常勤講師なども兼務する。著書に『パソコン革命の旗手たち』（日本経済新聞社）、『情報探索術』（同）、共著に『未来を創る情報通信政策』（NTT 出版）、『日本の未来について話そう』（小学館）など。

<卓話概要>

「家電王国・日本」の名をほしいままにした日本の家電産業が今、元気がない。アップルやサムスン電子など海外勢におされ、日本の十八番は過去のものになっている。AI スピーカーなど最新の技術も日本からは出なくなった。日本の家電産業はどこでつまづいたのか。本卓話では、日本の家電産業が抱える課題を解明しながら、どうすれば日本が再びこの分野で世界をリードできるかを探る。